

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



1日で発生する日焼け果



- 梅雨明け直後の**日射量**が強い条件では果房の肩部分の果粒が委縮して茶色に変色する**日焼け果**が発生します（写真）。
- 摘粒がやっと終わり、袋掛けが完了し、長雨から解放され、これから本格的な果粒肥大や糖度上昇を期待する矢先のことです。
- 特に果房の肩口が欠けてしまうと**房形**や**果房重**が十分と言えなくなってしまうので栽培者の落胆は大きくなります。
- 対策法のポイントは2点です。まずは、土壌が乾いていればスプリンクラーで2時間程度**かん水**をしましょう。
- また、**クラフト紙のカサ使用**や**新梢の誘引**により日光が直接果房に当たり高温にならない様にしましょう。



シャインマスカットに発生した日焼け症状

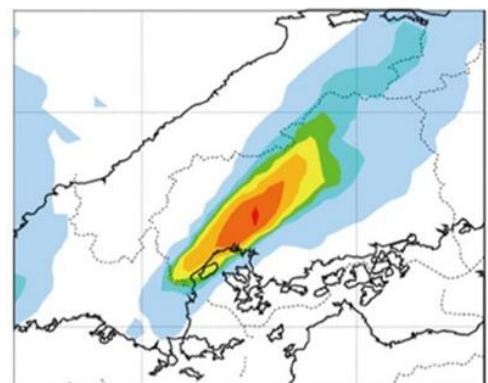


線状降水帯の予測開始



- **線状降水帯**とは、次々と発生する積乱雲が列をなし、同じ場所を通過または停滞することで、**線上に伸びた地域**に大雨を降らせるものです（図）。
- 本年6月に**気象庁**は線状降水帯による大雨の可能性を予測し、まずは大まかな地域を対象に**半日前からの情報提供**を開始しました。
- 図の例では、雨が降る地域が線上に50km以上細長く伸び、その中心部では**3時間**で**200mm以上の大雨**が続いていました。
- **梅雨末期以降**は予報に注意しましょう。

線状降水帯の例（平成26年8月の広島県の大雨）



1 10 20 30 50 100 200 (mm/3h)

（気象庁HPより）